

－ 報道発表 －

『金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書』の改訂について

財団法人 金融情報システムセンター

当センターでは、『金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書』を改訂し、第 8 版を発刊いたしましたので公表いたします。

『金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書』は、昭和 60 年 12 月に金融機関等の自主基準として策定された後、社会情勢の変化に対応して継続的に改訂を重ね、現在まで金融情報システムに関する安全対策の拠りどころとして活用されております。

平成18年3月に第7版を発刊した後、平成19年3月にインターネットバンキングとATMシステムに関する安全対策を中心とする第7版追補を、平成21年6月にはシステムリスク管理面での具体策に焦点を当てた第7版追補改訂を、それぞれ発刊いたしました。

今回、当センター内に設置している検討部会の検討結果を踏まえ、Webアプリケーションのセキュリティ対策、設備基準の全面見直しを中心に、日本銀行調査論文や各種ガイドラインとの比較分析、法令などとの整合性の確認も行い、第8版として発刊する運びとなりました。

主な改訂概要は次ページ以降のとおりです。

なお、改訂の対象は、304 基準中 115 基準です。また、1 基準を新設し安全対策基準は 305 基準となりました。

<改訂概要>

- (1) Web アプリケーションのセキュリティ対策
Web アプリケーションにおけるソフトウェアの設計・プログラム作成・テストの各工程で考慮すべき脆弱性とその対策やフィッシングの予防策等を追加しました。
- (2) 設備基準全般
設備基準全般にわたって、内容の妥当性、技術面の問題点、関連法令との整合性の観点から見直しました。
- (3) 伝送データ漏洩防止策
通信技術の向上を踏まえて、光ファイバー回線に関する漏洩防止策について見直しました。
- (4) システム・ネットワークサービス
金融機関相互のシステム・ネットワークサービスを利用する場合の管理に関する対応を基準項目として新設しました。
- (5) バックアップ・コンピュータセンターの災害対策
バックアップ・コンピュータセンターの実効性確保の観点から、災害発生時の対策を追加しました。
- (6) 災害（地震）関連情報
災害（地震）に関連する情報提供機関の動向を参考欄に追加しました。
- (7) BCP—新型インフルエンザ・パンデミック
コンティンジェンシープランの策定について、新型インフルエンザ等の感染症における留意点などを追加しました。

平成 23 年 3 月 17 日

- (8) システム品質向上対応
開発工程における品質向上方法に関する参考情報を追加しました。

- (9) 通信技術に関する安全対策
ネットワークや通信技術の最新動向を踏まえ、必要な安全対策を追加しました。

- (10) 異常な取引状況を把握するための対策
「犯罪による収益の移転防止に関する法律」施行後の動向を踏まえて、参考情報を見直しました。

<本件に関する問い合わせ先>

(財) 金融情報システムセンター 監査安全部 杜下 加藤 不動田
(03-5542-6077)